北地区まちづくり構想

まちづくりの将来像と目標

北地区の将来像

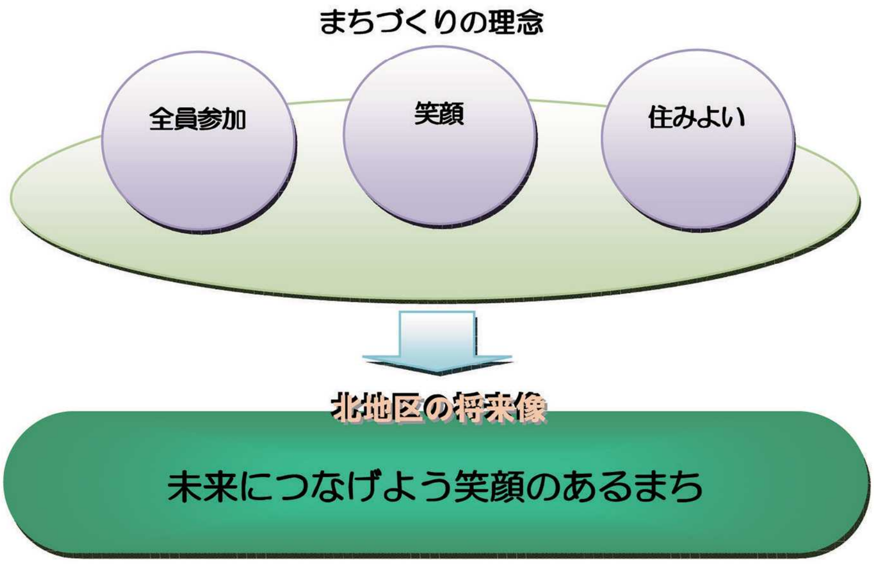
（1）まちづくりの理念

これからのまちづくりは、住民自らの手により行う必要があります。人口減少と高齢化が確実に見込まれる状況にあって、地域社会の持続可能な発展のためには、地域固有の特徴や資源を踏まえながらも、外に開かれた地域となることが必要です。そのためには、若者の新しい発想や活力を積極的に取り上げ、地域のみんなでまちづくりに取り組むことが大切です。

これからは、地域を構成する市民、団体、企業など、より多くの方々が自ら積極的に北地区のまちづくりに関わって頂き、それらの力を結集し行政と協働して、活力があり誰もが住みたい、住み続けたいと思う笑顔のある北地区をみんなで創っていきましょう。

（2）北地区の将来像

北地区の特性や資源、地区住民のニーズ、まちづくり課題等を考慮して、地区住民みんなが目指す将来あるべき姿を次のとおり設定します。

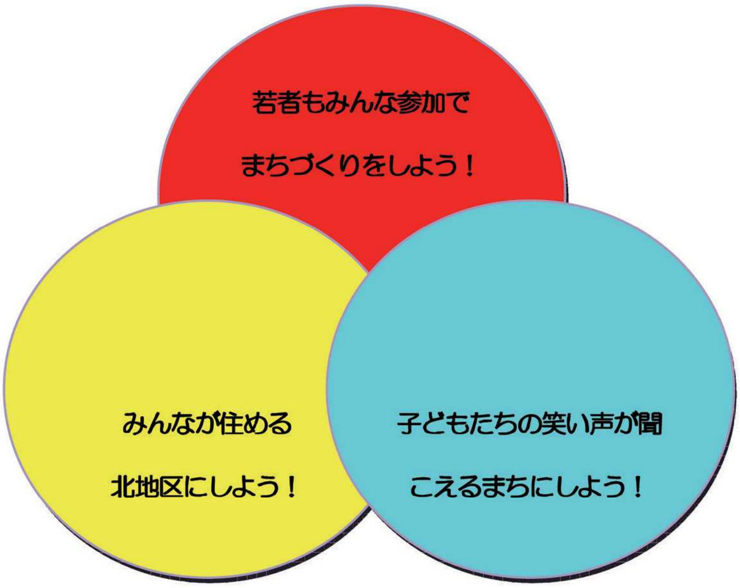


まちづくりの基本的考え方

北地区の歴史・自然などの資源を活かしながら、地域のみんながまちづくりに関わり、人口減少・高齢化の進展においても、公共交通の充実、買い物環境の整備、災害に強い基盤整備を進めるとともに、地域に必要な機能がコンパクトに集約されたまちづくりにより、笑顔のあふれるまちづくりを行います。

まちづくりの目標

北地区の将来像を実現するため、以下に示す３つのまちづくりの目標を掲げ、まちづくりを進めます。



（1）みんなが住める北地区にしよう！

住民が住みやすい基盤整備を行うとともに、地区計画の制度を積極的に利用して、周辺環境と調和した活気あるまちづくりに取り組みます。

① 適正な土地利用

現在の法制度の下、美しい田園環境を保全しながら、適正な誘導と有効利用により、ゆとりある空間を確保しながらコンパクトなまちになるよう努めます。

② 公共交通による交通手段の確保

地区の特性に合った公共交通のあり方について模索し、子どもや高齢者などみんなが容易に移動できる交通手段の確保を図ります。

③ 普段着で買い物できるまち

移動販売の活用など、子どもや高齢者などの交通弱者でも買い物などの日常生活に不便のない環境づくりを進めます。

④ 外に開かれたまち

地区住民同士のつながりを大切にし、相互に支え合う地域社会づくりに努めるとともに、地区住民のみならず、地区外から新たに入ってきた新規居住者が地区に入り込んでいきやすい仕組みづくりを行います。

（2）子どもたちの笑い声が聞こえるまちにしよう！

地区の未来を託す子どもたちの笑い声が聞こえるまちを目指し、誰もが安心・安全に暮らせる、住みたい・住み続けたいまちづくりにより、未来への希望が持てるまちづくりに取組みます。

① 地域ぐるみで子どもの成長を見守る

地域ぐるみで子どもの成長を見守ったり、お年寄りや障害のある人を支え合うなど健康で楽しく暮らし続けられるまちづくりを進めます。

② 子育て環境の充実

子どもが元気に遊べる公園整備など、子育て環境の基盤となる施設整備を進めます。

③　安全なまちづくり

犯罪や交通事故が起こらない安全なまちづくりを進めるとともに、火災・水害・震災などの災害を未然に防止し、災害から地区住民・地区を守る災害に強いまちづくりを進めます。

（3）若者もみんな参加でまちづくりをしよう！

今までまちづくりに参加する機会の少なかった若者世代の意見をまちづくりにとり入れることにより、住民自らの手によるまちづくりに取り組みます。

①　若者が参加できる仕組みづくり

若者や今までまちづくりに参加する機会の無かった人たちの意見を活かすための仕組みづくりを進めます。

②　持続的なイベントの開催

まちづくりの最初の一歩として、地区住民が一体となれるように、若者が参加に関心を示すようなイベントの開催などにより、交流の輪を広げ、地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。

※北地域自治区については、実際のプランの一部を抜粋したものを掲載しております。実際のプランは市のホームページに掲載しています。